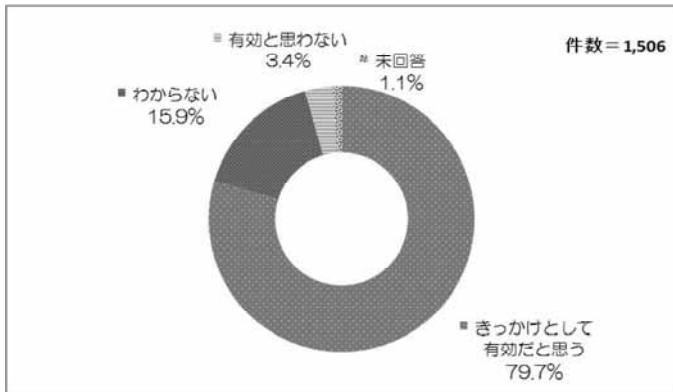


(4) 愛知県産木材製品の導入の有効性について

子どもたちが森林整備の意義や木のあたたかさを知るきっかけとして「きっかけとして有効と思う」が79.7%

問Ⅶ-4 愛知県産木材を使った木製机・椅子の導入は、子どもたちが森林整備の意義や木のあたたかさを知るきっかけとして有効だと思いますか。(〇は1つ)



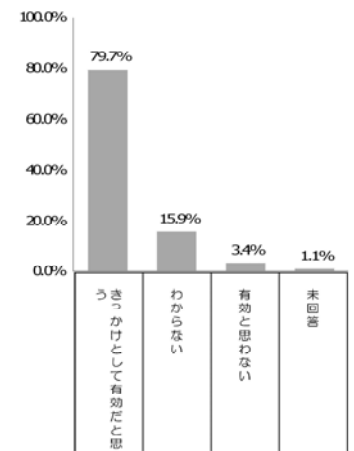
愛知県産木材を使った木製机・椅子の導入が、子どもたちが森林整備の意義や木のあたたかさを知る「きっかけとして有効だと思う」と答えた人の割合は79.7%と高くなっている。一方で「わからない」と答えた人の割合は15.9%、「有効と思わない」と答えた人の割合は3.4%である。

「有効と思わない」の理由としては、「学器の中で説明が必要」、「子供はあまり気にしないと思う」、「現状のイスの方が価格・機能が良い」などがある。

愛知県産木材製品の導入の有効性について (性別、年齢別、地域別、職業別)

- ◆性別で見ると、「きっかけとして有効だと思う」と答えた人の割合は、女性(84.9%)が高く、男性(75.1%)が低く、9.8ポイントの差がある。
- ◆年齢別で見ると、「きっかけとして有効だと思う」と答えた人の割合は、65歳以上(84.9%)が高く、20代(69.4%)が低く、15.5ポイントの差がある。
- ◆地域別で見ると、「きっかけとして有効だと思う」と答えた人の割合は、東三河地域(83.2%)が高く、名古屋地域(76.7%)が低く、6.5ポイントの差がある。
- ◆職業別で見ると、「きっかけとして有効だと思う」と答えた人の割合は、無職(82.2%)が高く、勤め人(78.4%)が低い。

件数=1506

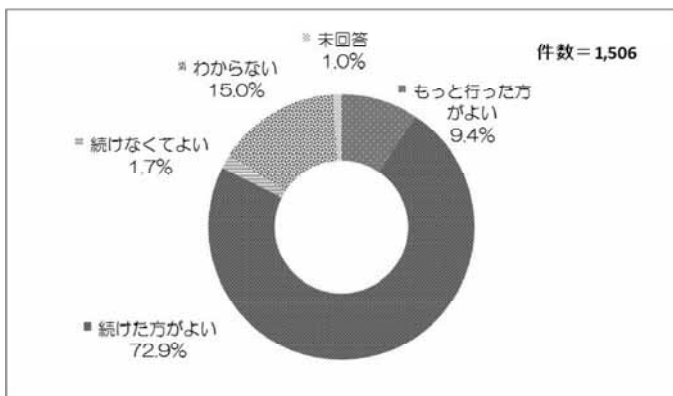


性別	男性	女性				
年齢別	20歳~29歳	30歳~39歳	40歳~49歳	50歳~59歳	60歳~64歳	65歳以上
地域別	名古屋地域	尾張地域	西三河地域	東三河地域		
職業別	自営業	勤め人	無職			

(5) 木の香る学校づくり推進事業の継続について

「木の香る学校づくり推進事業」を「続けた方がよい」が72.9%

問Ⅶ-5 あいち森と緑づくり事業で今後も「木の香る学校づくり推進事業」を続けた方がよいと思いますか。(〇は1つ)



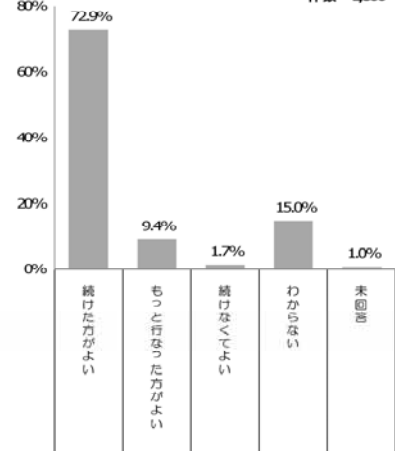
あいち森と緑づくり事業で「木の香る学校づくり推進事業」を「もっと行った方がよい」と答えた人の割合は9.4%、「続けた方がよい」と答えた人の割合は72.9%と高くなっている。一方で「続けなくてよい」と答えた人の割合は1.7%、「わからない」と答えた人の割合は15.0%である。

「続けなくてよい」の理由としては、「費用がかかりすぎる」、「効果がわからない」、「公共施設で木材を活用した方がよい」などがある。

木の香る学校づくり推進事業の継続について (性別、年齢別、地域別、職業別)

- ◆性別で見ると、「続けた方がよい」と答えた人の割合は、女性(76.3%)が高く、男性(69.8%)が低く、6.5ポイントの差がある。
- ◆年齢別で見ると、「続けた方がよい」と答えた人の割合は、65歳以上(79.3%)が高く、20代(64.8%)が低く、14.5ポイントの差がある。
- ◆地域別で見ると、「続けた方がよい」と答えた人の割合は、西三河地域(76.2%)が高く、名古屋地域(72.2%)が低く、4.0ポイントの差がある。
- ◆職業別で見ると、「続けた方がよい」と答えた人の割合は、自営業(79.7%)が高く、勤め人(70.7%)が低い。

件数=1506



性別	男性	女性				
年齢別	20歳~29歳	30歳~39歳	40歳~49歳	50歳~59歳	60歳~64歳	65歳以上
地域別	名古屋地域	尾張地域	西三河地域	東三河地域		
職業別	自営業	勤め人	無職			

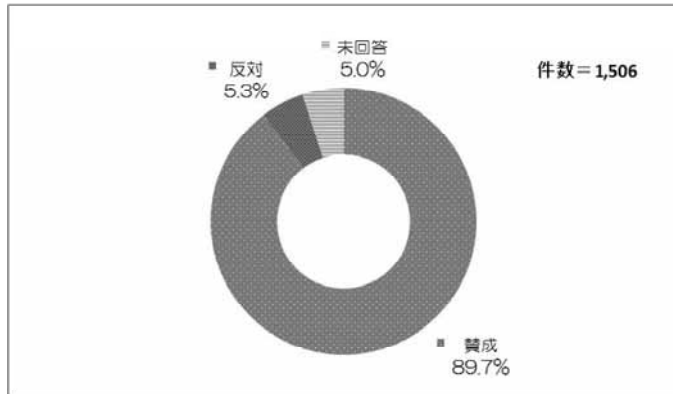
Ⅵ 「あいち森と緑づくり事業」の今後について

(1) 「あいち森と緑づくり事業」の継続について

「あいち森と緑づくり事業」の継続について「賛成」89.7%

問Ⅵ-1 県内には、手入れが必要で、様々な公益的機能の低下が心配される森と緑がまだ多く残されています。愛知県は「あいち森と緑づくり税」を継続して、森と緑を守り育てる取り組みを続けたいと考えていますが、この取り組みの継続についてどのように思いますか。

(○は1つ)



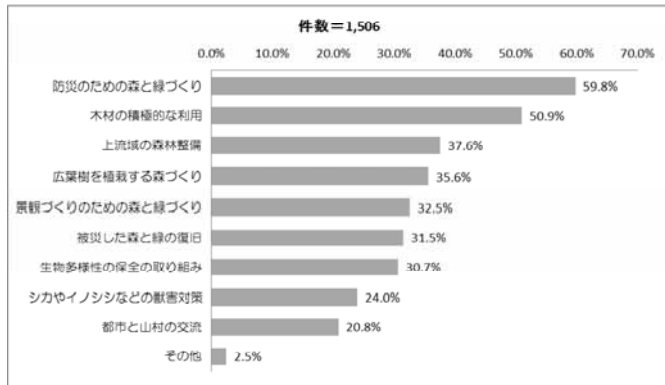
「あいち森と緑づくり税及び事業」の継続について「賛成」と答えた人の割合は89.7%と高くなっている。一方で「反対」と答えた人の割合は5.3%である。

「反対」の理由としては、「増税に反対」、「新たな税は必要ない」、「税金で行うことではない」、「税金の使い道が不明」、「効果がわからない」などがある。

(2) 「あいち森と緑づくり事業」の新たな取組について

「防災のための森と緑づくり」が59.8%

問Ⅵ-2 「あいち森と緑づくり税」を活用して、今後取り組みを検討した方がよいと思われるものはありますか。(複数回答可)

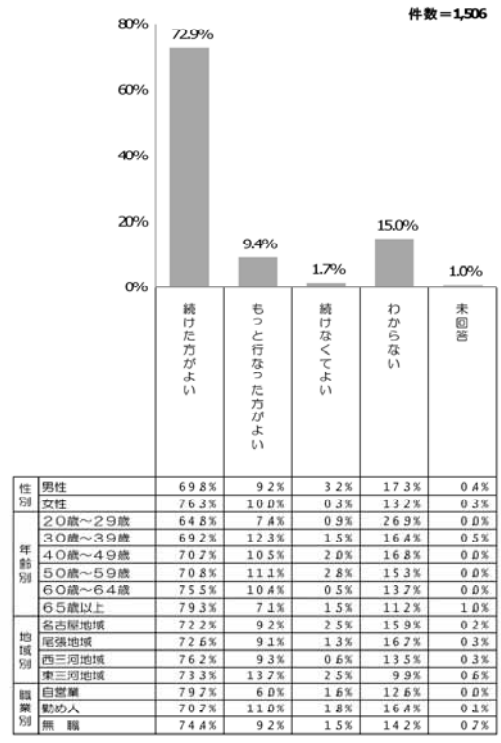


「あいち森と緑づくり税」を活用した取組で、検討した方がよいものとして、「防災のための森と緑づくり」を回答した人の割合は59.8%と最も高く、次いで「木材の積極的な利用」を回答した人の割合が50.9%、「上流域の森林整備」と回答した人の割合が37.6%の順にある。

「その他」の具体的な案としては、「生活環境の場への植樹」、「子供を対象とした活動」などがある。

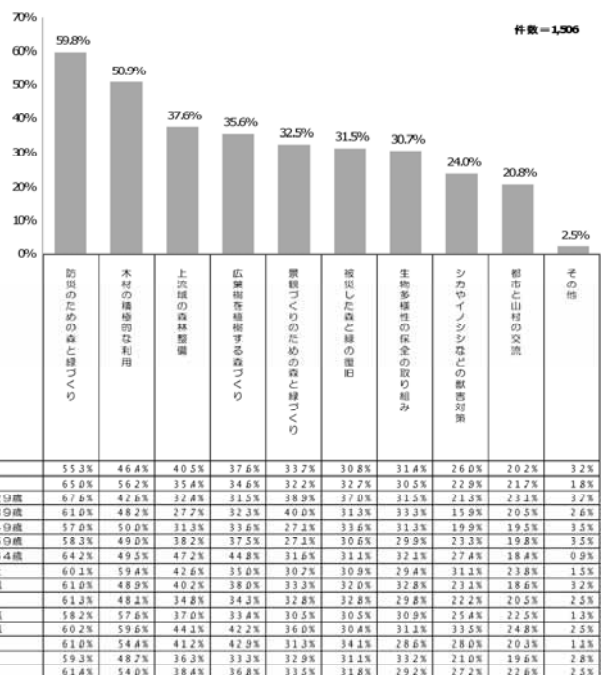
木の香る学校づくり推進事業の継続について(性別、年齢別、地域別、職業別)

- ◆性別で見ると、「続けた方がよい」と答えた人の割合は、女性(76.3%)が高く、男性(69.8%)が低く、6.5ポイントの差がある。
- ◆年齢別で見ると、「続けた方がよい」と答えた人の割合は、65歳以上(79.3%)が高く、20代(64.8%)が低く、14.5ポイントの差がある。
- ◆地域別で見ると、「続けた方がよい」と答えた人の割合は、西三河地域(76.2%)が高く、名古屋地域(72.2%)が低く、4.0ポイントの差がある。
- ◆職業別で見ると、「続けた方がよい」と答えた人の割合は、自営業(79.7%)が高く、勤め人(70.7%)が低い。



「あいち森と緑づくり事業」の新たな取り組みについて(性別、年齢別、地域別、職業別)

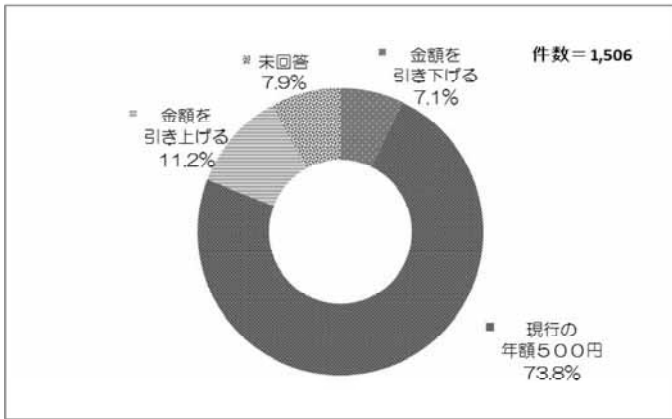
- ◆性別で見ると、回答の順に大きな差はみられないが、「防災のための森づくり」、「木材の積極的な利用」と答えた人の割合は、女性は男性より10ポイント程高い。
- ◆年齢別で見ると、20代、30代、40代で全体で3番目の「上流域の森林整備」と答えた人の割合が5~7番目になっており、全体で5番目の「景観づくりのための森と緑づくり」と答えた人の割合が3番目になっている。
- ◆地域別で見ると、回答の順は同傾向だが、全体で1番目の「防災のための森と緑づくり」と2番目の「木材の積極的な利用」と答えた人の割合について、名古屋地域、尾張地域に比べ西三河地域、東三河地域でポイント差が小さい。
- ◆職業別で見ると、勤め人では、全体で7番目の「生物多様性の保全の取り組み」と答えた人の割合が5番目になっている。



(3) 「あい森と緑づくり税」の負担額について

「あい森と緑づくり税」の今後の負担額について「現行の年額500円」が73.8%

問Ⅲ-3 「あい森と緑づくり税」を今後も継続する場合、個人の方の負担はどの程度が適当だと思いますか。
(○は1つ)



「あい森と緑づくり税」を今後も継続する場合に適当な個人の方の負担について「現行の年額500円」と回答した人の割合は73.8%と最も多く、次いで「金額を引き上げる」と回答した人の割合は11.2%であり、「引き下げる」と回答した人の割合は7.1%と最も少なかった。

「金額を引き上げる」の意見としては多い順に、「1,000円」、「800円」、「700円」、「1,200円」、「5,000円」などがある。

「金額を引き下げる」の意見としては多い順に、「300円」、「0円」、「100円」、「200円」、「400円」などがある。

(4) その他、「あい森と緑づくり税」、「あい森と緑づくり事業」に対する自由意見

「事業のPR必要」、「税を正しい使い道で使用してほしい」、「事業を継続してほしい」、「森を守ることに賛成」、「緑を増やしてほしい」、「活動を継続してほしい」、「事業計画、予算、効果を公表してほしい」、「民間事業で行うべき」、「所有者が行うべき」などがある。

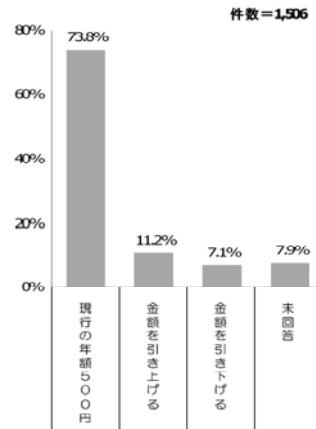
「あい森と緑づくり税」の負担額について(性別、年齢別、地域別、職業別)

◆性別で見ると、「現行の年額500円」と答えた人の割合は、女性(77.7%)が高く、男性(71.2%)が低く、6.5ポイントの差がある。

◆年齢別で見ると、「現行の年額500円」と答えた人の割合は、年齢層が上がるごとに減る傾向にあり、「金額を引き上げる」と答えた人の割合は、年齢層が上がるごとに増える傾向にある。

◆地域別で見ると、「金額を引き上げる」と答えた人の割合は、名古屋地域(12.2%)が高く、東三河地域(10.6%)が低い、一方で「金額を引き下げる」と答えた人の割合は、東三河地域(8.7%)が高く、名古屋地域(6.5%)が低い。

◆職業別で見ると、「現行の年額500円」と答えた人の割合は、勤め人(76.3%)が高く、一方で「金額を引き下げる」と答えた人の割合は、自営業(8.8%)が高い。



性別	男性	女性
20歳～29歳	84.3%	3.7%
30歳～39歳	78.5%	8.7%
40歳～49歳	73.4%	12.1%
50歳～59歳	74.3%	12.5%
60歳～64歳	73.1%	13.2%
65歳以上	72.0%	12.4%
名古屋地域	75.2%	12.2%
尾張地域	73.4%	10.9%
西三河地域	75.9%	11.6%
東三河地域	75.8%	10.6%
自営業	71.4%	11.5%
勤め人	76.3%	11.6%
無職	73.9%	10.9%

調査票

<アンケートに出てきます言葉の解説>

- ・あい森と緑づくり税：
森や緑が持つ環境安全や災害防止などの様々な働きを高めるため、平成21年度から県民税均等割の額に一定額を上乗せして、御負担いただいているものです(個人年額500円増、法人5%増(年額1,000円～4,000円増))。
- ・あい森と緑づくり事業：
あい森と緑づくり税の税収等を財源として、森や緑が持つ様々な働きを高めるため、県内の森林、里山林、都市の緑をバランスよく整備する取り組みを行っている事業です。
- ・人工林：
木材を得る目的で、植林など人の手によって作られた、スギやヒノキなどの針葉樹の森林。
- ・間伐：
木の混み具合に応じて、混みすぎた森林の木を間引きして伐採する作業のことで、残した木の生長を促すとともに、森林の様々な働きを高める効果があります。
- ・里山林：
かつて人々が暮らしの中で、薪(まき)や落ち葉などを燃料や肥料に利用することで維持管理されてきた、コナラなどの落葉広葉樹の森林。

<問いに対する答えのうち、あなたの考えに一番近いものを○で囲ってください>

I 森と緑の働きについて

本県には、三河山間部の森林(人工林)、名古屋市に代表される都市の緑、その中間にある里山林と、守り育てて将来に引き継いでいかなければならない森と緑がたくさんあります。

問Ⅰ-1 森と緑は、災害の防止など様々な公益的機能により、私たちの暮らしを支えてくれています。あなたは、このことについて知っていましたか。

- 1 知っていた
2 知らなかった

問Ⅰ-2 近年、木材価格の低迷により、所有者による人工林の手入れが不足したり、都市の緑は開発などにより減少していきつつあり、森と緑の持つ様々な公益的機能がだんだん低下していきつつあることが心配されています。あなたは、このことを知っていましたか。

- 1 知っていた
2 知らなかった

問Ⅰ-3 将来に向けて健全な森と緑を引き継いでいくことについて、必要と思いますか。

- 1 必要と思う
2 必要と思わない (理由)

II 「あい森と緑づくり税」について

問Ⅱ-1 このアンケート調査の前に「あい森と緑づくり税」のことを知っていましたか。

- 1 知っていた
2 知らなかった

問Ⅱ-2 「あい森と緑づくり税」を使った間伐や都市緑化などの取り組みを必要と思いますか。

- 1 必要と思う
2 必要と思わない (理由)

次に、「あいち森と緑づくり事業」の個々の事業についてお尋ねします。

Ⅲ 人工林整備事業について

「人工林整備事業」： 公益的機能を発揮させるため、手入れの遅れたスギ・ヒノキの人工林を開伐する事業。

問Ⅲ-1 開伐は森林(人工林)の公益的機能を高めることを知っていましたか。

- 1 知っていた
- 2 知らなかった

問Ⅲ-2 あいち森と緑づくり事業で愛知県内の手入れの遅れたスギ・ヒノキの人工林を開伐していることを知っていましたか。

- 1 知っていた
- 2 知らなかった

問Ⅲ-3 あいち森と緑づくり事業での人工林の開伐を見たこと、聞いたことがありましたか。

- 1 見たこと、聞いたことがあった
- 2 見たことも聞いたこともなかった
- 3 開伐は行われているが、あいち森と緑づくり事業かどうかはわからなかった

問Ⅲ-4 あいち森と緑づくり事業で今後も開伐を続けたほうが良いと思いますか。

- 1 続けたほうが良い
- 2 もっと行ったほうが良い
- 3 続けなくて良い (理由)
- 4 わからない

問Ⅲ-5 人工林整備について、御意見、御感想などがありましたら自由に書いてください。

73

Ⅳ 里山林整備事業について

「里山林整備事業」： 放置された里山林を対象に、公益的機能を回復させるため、枯れたり、支障となる木の抜き伐りや侵入竹の伐採などの森林の手入れ、作業小屋や管理道などの施設整備を行う事業。

問Ⅳ-1 公益的機能を回復させるため、里山林を整備する必要があることを知っていましたか。

- 1 知っていた
- 2 知らなかった

問Ⅳ-2 あいち森と緑づくり事業で、里山林の整備をしていることを知っていましたか。

- 1 知っていた
- 2 知らなかった

問Ⅳ-3 あいち森と緑づくり事業による里山林の整備を、見たこと、聞いたことがありましたか。

- 1 見たこと、聞いたことがあった
- 2 見たことも聞いたこともなかった
- 3 里山林の整備は行われていたが、あいち森と緑づくり事業かどうかはわからなかった

問Ⅳ-4 あいち森と緑づくり事業で、今後も里山林の整備を続けたほうが良いと思いますか。

- 1 このまま続けたほうが良い
- 2 もっと行ったほうが良い
- 3 続けなくて良い (理由)
- 4 わからない

問Ⅳ-5 里山林整備について、御意見、御感想などがありましたら自由に書いてください。

74

Ⅴ 都市緑化推進事業について

「都市緑化推進事業」： あいち森と緑づくり税を使って、①都市における樹林地の保全・創出を図る取組、②民有地の緑化、③美しい並木道の再生、④県民参加で実施する緑化活動や都市緑化の普及啓発活動などへ支援する事業。

問Ⅴ-1 都市の緑はヒートアイランド現象の緩和、生物多様性の保全、地震発生時の火災延焼防止などの防災機能の発揮に役立っていることを知っていましたか。

- 1 知っていた
- 2 知らなかった

問Ⅴ-2 あいち森と緑づくり事業を使って、都市の緑を増やす取組を行っていることを知っていましたか。

- 1 知っていた
- 2 知らなかった

問Ⅴ-3 あなたの住まいの周辺(半径1～2km程度)の緑についてどのように感じますか。

- 1 増えてきていると感じる
- 2 減ってきていると感じる
- 3 変わらない

問Ⅴ-4 今後、さらに都市の緑を増やしていくために、愛知県や市町村にどのような取組を望んでいますか。(複数回答可)

- 1 家の庭や生垣の緑化の助成
- 2 ビル(マンション、オフィスビル等)の屋上緑化や壁面緑化、駐車場緑化への助成
- 3 道路の街路樹や中央分離帯の緑化
- 4 公園緑地の整備
- 5 学校や市役所など公共施設の屋上緑化、壁面緑化、駐車場緑化
- 6 路面電車などの鉄道敷き(線路と線路の間など)の緑化(芝生化)
- 7 既存民有林の樹林地の買い取り(公有地化)・保護・保全・整備
- 8 公園の竹藪の伐採などの竹林整備
- 9 その他 (具体的に)

75

問Ⅴ-5 あなたが、今よりも都市の緑に関心や関わりをもてるようになるには、愛知県や市町村にどのような取組を望みますか。(複数回答可)

- 1 県民への苗木の配布
- 2 ガーデニングなどの緑化相談や緑化研修の充実
- 3 緑化に関するイベントや緑化講演会、自然観察会の開催
- 4 植樹祭の開催
- 5 緑化に関する情報誌の発行
- 6 緑化に関する情報のホームページ掲載
- 7 緑と花のボランティア団体に対する表彰
- 8 植樹祭や緑化活動への助成
- 9 その他 (具体的に)

問Ⅴ-6 あいち森と緑づくり事業で、今後も都市の緑を増やす取組を続けたほうが良いと思いますか。

- 1 このまま続けたほうがよい
- 2 もっと行ったほうが良い
- 3 続けなくて良い (理由)
- 4 わからない

問Ⅴ-7 都市緑化推進について、御意見、御感想などがありましたら自由に書いてください。

76

VI 環境活動・学習事業について

「環境活動・学習事業」： 市町村やNPO、ボランティア団体等が行う自発的な森と緑の保全活動や環境学習を公募し、事業実施に必要な経費（資材の購入、外部講師の謝金など）を交付金で支援する事業。

問VI-1 里地・里山などで間伐、下草刈り、植樹などを行う「自然環境保全活動」や、森林作業の体験教室や自然観察会といった「環境学習」を、あいち森と緑づくり事業で支援していることを知っていましたか。

1 知っていた
2 知らなかった

問VI-2 これまでに「自然環境保全活動」や「環境学習」に参加したことがありますか。

1 参加したことがある
2 参加したことがない

問VI-3 あなたの身の回りで「自然環境保全活動」や「環境学習」が実施された場合、参加したいと思いませんか。

1 参加したい
2 参加したくない（理由）

問VI-4 あいち森と緑づくり事業で、今後も「自然環境保全活動」や「環境学習」の支援を続けた方がよいと思いませんか。

1 続けた方がよい
2 もっと行ったほうがよい
3 続けなくてよい（理由）
4 わからない

問VI-5 自然環境保全活動、環境学習について、御意見、御感想などがありましたら自由に書いてください。

最後に、「あいち森と緑づくり事業」の今後についてお尋ねします。

VII 「あいち森と緑づくり事業」の今後について

問VII-1 県内には、手入れが必要で、様々な公益的機能の低下が心配される森と緑がまだ多く残されています。

愛知県は「あいち森と緑づくり税」を継続して、森と緑を守り育てる取り組みを続けたいと考えていますが、この取り組みの継続についてどのように思いませんか。

1 賛成
2 反対（理由）

問VII-2 「あいち森と緑づくり税」を活用して、今後取り組みを検討したほうがよいと思われるものはありますか。（複数回答可）

1 木材の積極的な利用
2 広葉樹を植栽する森づくり
3 上流域の森林整備
4 景観づくりのための森と緑づくり
5 防災のための森と緑づくり
6 被災した森と緑の復旧
7 シカやイノシシなどの獣害対策
8 生物多様性の保全の取り組み
9 都市と山村の交流
10 その他（具体的に）

問VII-3 「あいち森と緑づくり税」を今後も継続する場合、個人の方の負担はどの程度が適当だと思いますか。

1 現行の年額500円
2 金額を引き上げる（円）
3 金額を引き下げる（円）

問VII-4 「あいち森と緑づくり税」、「あいち森と緑づくり事業」について御意見、御感想などがありましたら自由に書いてください。

VII 木の香る学校づくり推進事業について

「木の香る学校づくり推進事業」： 公立小中学校の子どもたち用に、愛知県産木材を利用した机・椅子を導入する事業。愛知県産の木が使われれば、地域の森林が整備されることにつながります。

問VII-1 愛知県産の木材製品を使うことが、地域の森林整備につながることを知っていましたか。

1 知っていた
2 知らなかった

問VII-2 木の香る学校づくり推進事業を知っていましたか。

1 知っていた
2 知らなかった

問VII-3 あなたの周りの学校で愛知県産木材を使った木製机・椅子が導入されていますか。

1 導入されているのを見た
2 聞いたことがある
3 知らない

※木製机・椅子とは、机・椅子の全てが木製だけではなく、一部にでも愛知県産木材が使用されているものです。

問VII-4 愛知県産木材を使った木製机・椅子の導入は、子どもたちが森林整備の意識や木のあたたかさを知るきっかけとして有効だと思いますか。

1 きっかけとして有効だと思う
2 わからない
3 有効と思わない（理由）

問VII-5 あいち森と緑づくり事業で今後も「木の香る学校づくり推進事業」を続けた方がよいと思いませんか。

1 続けた方がよい
2 もっと行ったほうがよい
3 続けなくてよい（理由）
4 わからない

御意見をお聞きするのはこれで終わりですが、回答を統計的に分析するために、あなた御自身のことについてお聞きします。該当する番号に○を付けてください。（○は1つ）

F1〈性別〉あなたの性別をお聞かせください。

1 男性
2 女性

F2〈年齢〉あなたの年齢（満）はおいくつですか。

1 20～29歳
2 30～39歳
3 40～49歳
4 50～59歳
5 60～64歳
6 65歳以上

F3〈地域〉あなたのお住まいの地域はどこですか。

1 名古屋地域	名古屋市
2 尾張地域	一宮市・瀬戸市・半田市・春日井市・津島市・犬山市・常滑市・江南市・小牧市・稲沢市・東海市・大府市・知多市・尾張旭市・岩倉市・豊明市・日進市・愛西市・清須市・北名古屋市・弥富市・あま市・長久手市・愛知郡・西春日井郡・丹羽郡・海部郡・知多郡
3 西三河地域	岡崎市・碧南市・刈谷市・豊田市・安城市・西尾市・知立市・高浜市・みよし市・額田郡
4 東三河地域	豊橋市・豊川市・蒲郡市・新城市・田原市・北設楽郡

F4〈職業〉あなたの御職業は、次のどれにあたりますか。パートタイマーや内職をしている方も勤め人としてお答えください。

自営業	勤め人	無職
1 農林漁業	4 管理職	8 家事専業
2 商工サービス業	5 専門技術職	9 学生
3 自由業	6 事務職	10 その他
	7 労務職	

本調査に御協力いただき、誠にありがとうございました。同封の封筒に入れて御返送ください（切手不要です）。